

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成30年3月15日(2018.3.15)

【公開番号】特開2017-61181(P2017-61181A)

【公開日】平成29年3月30日(2017.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-013

【出願番号】特願2015-186487(P2015-186487)

【国際特許分類】

B 6 0 R 16/033 (2006.01)

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

H 0 1 M 10/44 (2006.01)

H 0 2 J 7/14 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 16/033 C

H 0 2 J 7/00 3 0 2 C

H 0 1 M 10/44 P

H 0 2 J 7/14 H

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月31日(2018.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

他方、第1接点3 6 1 c , 3 6 2 c , 3 6 3 c は、副電池2と接続されず、副電池2はリレー3 6 1 , 3 6 2 , 3 6 3 , ... 及びスイッチ3 1 によって主電池1と遮断される。これにより、外部(ここではバックアップ負荷6 1 , 6 2 , 6 3 , ...)への給電を確保しつつ、電池間環流が回避される。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 4】

なお、本実施の形態ではスイッチ3 1 とリレー3 6 1 , 3 6 2 , 3 6 3 , ... とは並列接続された関係にあるので、スイッチ3 1 が導通している場合に、リレー3 6 1 , 3 6 2 , 3 6 3 , ... がオープン／クローズのいずれの状態にあるかは不問である。よって、スイッチ3 1 が導通している場合において、ここでは考慮されない事情により、上記制御装置がリレー3 6 1 , 3 6 2 , 3 6 3 , ... をクローズ状態にしておいてもよい。この場合、スイッチ3 1 が非導通となると同時に、あるいはそこから所定時間経過後に、リレー3 6 1 , 3 6 2 , 3 6 3 , ... をオープン状態にする。この所定時間は主電池1と副電池2との電位差が小さいなど、電池間環流が实际上で問題とならない時間に設定できる。